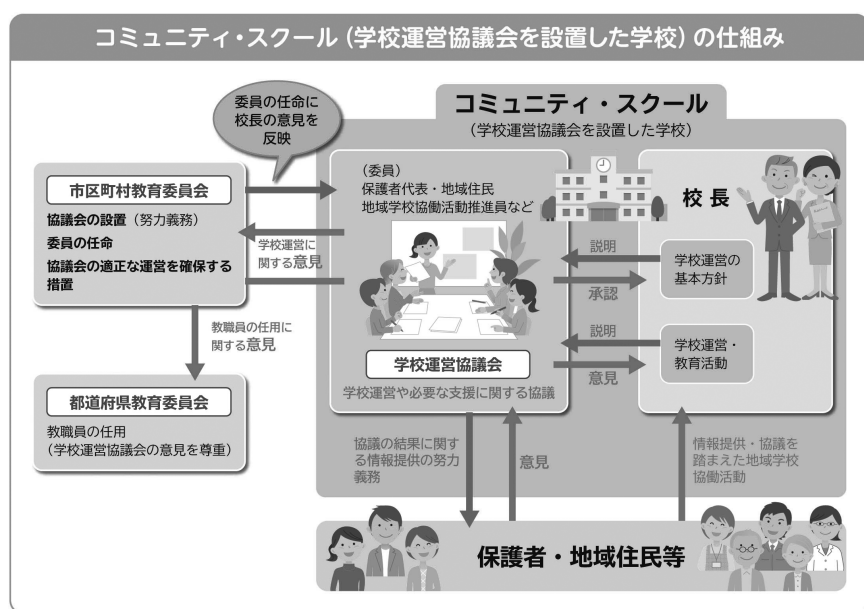


●コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営に地域のみさんの声を活かす仕組みです。

学校運営協議会は、保護者代表、地域住民、有識者などで構成し、学校運営の基本方針や学校に必要な支援などについて協議し、様々な立場からご意見をいただきます。

学校と地域が同じ目標をもち、保護者や地域のみなさんにも教育の当事者になっていただくことで、子供たちへの教育をより効果的に進めていくことができます。



(これからの学校と地域, 文部科学省, 2020)

地域とともにある学校づくり ～コミュニティ・スクール～

●学校運営協議会を設置すると？

協議会の設置により、保護者や地域のみなさんが学校運営に参画する仕組みができます。この仕組みを活用して、それぞれの学校が、地域の意見を踏まえ、地域の良さを活かした学習活動を行ったり、地域住民とともに教育活動を行ったりすることが出来ます。

地域と学校が一体になって、役割分担をしながら、それぞれが主体的に子供たちの育成に関わることで、次代の地域を担う人材の育成や学校を核とした地域づくりにつながっていくことが期待されます。

●竹原市のコミュニティ・スクール

竹原市では、令和2年度に、先進的に4校へ学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。令和3年度からは、8校へ協議会を設置し、市内全ての学校がコミュニティ・スクールとしてスタートしました。



竹原小学校 (地域と一体となった活動)



防犯訓練及び防犯教室を実施する際に、学校運営協議会から地域住民にも呼びかけ、参加していただくことにより、地域における防犯意識を高める機会となりました。

吉名学園 (学習活動への参画)



総合的な学習の時間において、8年生の各グループの「商品開発プロジェクト」の発表を聞き、その場で各委員が意見を述べたり、商品化の実現に向けての助言を行ったりしました。

問い合わせ 総務学事課教育指導担当 ☎ 22-7753